

◆第2次文化推進基本計画に基づく事業評価票(照会シート)

第2次文化推進基本計画での位置づけ 重点取組項目/施策の方向性	NO	施策・事業名	新規継続	目的	内容	課題	今後の方向性	実施期間	実施場所	平成29年度事業費 (単位:千円)	成果指標					自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	対象(ターゲット) (該当するところ◎をご記入ください)										広報媒体 (掲載された広報媒体(該当するところ◎をご記入ください))												
											指標名	単位	H28実績	H29実績	H30目標		市民全般	男性	女性	乳幼児	小学生	成人	高齢者	障がいのある人	外国人	その他	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(あしや・トライアングる等)						
①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進 (2)文化活動を通じた地域のつながりづくり	47	【公民館講座】	継続		・田辺真人先生の「文化の歴史」講座 募集定員90名、月1回(全6回)の歴史講座		従来から継続している人気のある講座で、今後も継続して実施する。	10/19~3/15	市民センター・公民館	7000(再掲)	受講者数	人	71	78	現状維持	A	◎											◎	◎	◎									
	48		継続		・芦屋で暮らした人々 募集定員90名、月1回(全3回)の歴史講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	1/13~3/10	市民センター・公民館	受講者数	人	78	109	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	49		新規		・ちめ海の海に広がる神話の世界 募集定員90名、月1回(全2回)の歴史講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	1/26~2/23	市民センター・公民館	受講者数	人	-	70	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	50		新規		・健康ハイキング講座 募集定員20名、全3回、講師とともに山を歩く野外講座		今後も現状の事業レベルを維持する。学ばれた受講者が案内人として活躍できるようにしたい。	9/25~12/4	市民センター・公民館	受講者数	人	-	29	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	51		新規	健康を学ぶ機会を設ける	・篠崎先生の精神医学講座 募集定員90名、月1回(全3回)の精神医学講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	1/27~3/31	市民センター・公民館	受講者数	人	-	54	現状維持	B	◎												◎	◎	◎									
	52		継続		・芦屋大学公開講座 募集定員90名、全2回の芦屋大学と共催で実施する健康講座		今後も芦屋大学との共催をしながら、良好な講座を実施する。	2/3~2/24	市民センター・公民館	受講者数	人	115	36	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	53		継続	病気や医療の知識を深める機会を設ける	・芦屋病院公開講座 募集定員80名、全5回の芦屋病院と共催で実施する健康講座	講座のテーマによって参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を行う必要がある。引き続き、1回のみ受講者を受け入れる。	4/8~8/5	市民センター・公民館	受講者数	人	17(1回だけの受講者258人を含めない)	11(1回だけの受講者267人を含めない)	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	54		継続	科学や技術を学ぶ機会を設ける	・サイエンス講座-現代を生きるための脳科学 募集定員90名、月1回(全3回)のサイエンス講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	4/15~6/24	市民センター・公民館	受講者数	人	39	85	現状維持	B	◎												◎	◎	◎									
	55		継続	インターネット検索など、日常生活に即したパソコンの使用を目的に、学習する機会を設ける	・初心者向けパソコン講座 募集定員15名、全4回のパソコン講座	受講者のレベル差があるため、どのレベルをターゲットにするかが難しい。	講座を受講した方々が講師になっていただくようにする。常に受講者のニーズを把握する。	6/9~6/30	市民センター・公民館	受講者数	人	10	5	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	56		新規	経済・歴史を学ぶ機会を設ける	・経済学講座「経済学は何を答えようとしてきたのか」 募集定員90名、月1回(全3回)の経済学講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	7/20~9/7	市民センター・公民館	受講者数	人	-	43	現状維持	A	◎												◎	◎	◎									
	57	新規	心理学を学ぶ機会を設ける	・心理学講座(生涯いきいきの健康を心理学から考える) 募集定員90名、月1回(全3回)の心理学講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	7/27~9/7	市民センター・公民館	受講者数	人	-	67	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
	58	新規	死生学を学ぶ機会を設ける	・死生学講座「生きる」を考える 募集定員90名、月1回(全2回)の死生学講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	8/12~9/9	市民センター・公民館	受講者数	人	-	67	現状維持	B	◎												◎	◎	◎										
	59	継続	病気や医療の知識を深める機会を設ける	・芦屋病院公開講座 募集定員80名、全6回の芦屋病院と共催で実施する健康講座	講座のテーマによって参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を行う必要がある。引き続き、1回のみ受講者を受け入れる。	10/7~3/3	市民センター・公民館	受講者数	人	16(1回だけの受講者315人を含めない)	5(1回だけの受講者221人を含めない)	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
	60	継続	科学や技術を学ぶ機会を設ける	・サイエンス講座-宇宙物理学入門 募集定員90名、月1回(全3回)のサイエンス講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	10/14~12/9	市民センター・公民館	受講者数	人	39	65	現状維持	B	◎												◎	◎	◎										
	61	継続	時事問題の知識を深める機会を設ける	・世界はニュースだけではわからない 募集定員90名、月1回(全6回)の時事問題講座		今後も現状の事業レベルを維持する。	10/21~3/17	市民センター・公民館	受講者数	人	91	79	現状維持	B	◎												◎	◎	◎										
	62	継続	外国人に対して日本語の会話、読み書きを学ぶ機会を設ける	・にほんごがききゅう 全50回の日本語を教える講座(通年)	参加者が増えると講師の確保が困難となる。	今後も現状の事業レベルを維持する。	4/6~3/29	市民センター・公民館	延べ参加者数	人	317	223	現状維持	B						◎							◎	◎	◎										
	63	継続	歴史・文化や教育等を学ぶ機会を設ける	・家庭教育セミナー 消費生活セミナー 平和事業講演会等、年12回実施		今後も現状の事業レベルを維持する。	通年	市民センター・公民館	延べ参加者数	人	1,501	1,014	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
	64	【公民館】	継続	歴史・文化・科学・美術等を学ぶ機会を設ける	・NHK公開セミナーの共催事業 全3回のNHKと共催で実施するセミナー	NHKとの共催事業のため、実施できるかはNHK次第である。	10/6、10/12、1/29	ルナ・ホール	延べ参加者数	人	1,295	1,679	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
	65	継続	親子で学ぶ機会を設ける	・子ども教室 モルアート教室 オカリナ教室 子どもクッキング等、年15回実施		基本的には現在の内容で十分であるが、新しい要素を取り入れられないか検討する。	7/31~8/25	市民センター・公民館	延べ参加者数	人	376	424	現状維持	A													◎	◎	◎										
	66	新規	学校卒業後の視覚障がい者に対して身体障害者社会福祉を開設し、社会人としての教養や知識を習得し、交流の場を設ける	・阪神青い鳥学級南支部芦屋教室 視覚障がい者による等、ピアノの演奏、陶芸教室、ストレッチ、落語、交流の場を設ける		尼崎市・西宮市・芦屋市で3年に1回担当市となる。	9/15~10/27	公民館音楽室 あしあわせの村	700	受講者数	人	-	26(芦屋市からの参加者)	現状維持	A												◎	◎	◎										
67	新規	【公民館音楽会】		・~貴志康一 没後90年~貴志康一のバイオリン曲と美しいピアノトリオ		今後も現状の事業レベルを維持する。	5/20	公民館音楽室	参加者数	人	-	116	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
68	継続			・竹中真ジャズピアノコンサート ~ジャズで聴く夏の歌~		今後も現状の事業レベルを維持する。	7/15	公民館音楽室	参加者数	人	89	135	現状維持	A	◎												◎	◎	◎										
69	新規			・ハッピーツインズ 情熱のヴァイオリンデュオ		今後も現状の事業レベルを維持する。	9/30	公民館音楽室	参加者数	人	-	123	現状維持	A	◎													◎	◎	◎									
70	新規			・花井結 ヴァイオリンコンサート		今後も現状の事業レベルを維持する。	12/16	公民館音楽室	参加者数	人	-	130	現状維持	A	◎													◎	◎	◎									

◆第2次文化推進基本計画に基づく事業評価票(照会シート)

第2次文化推進基本計画での位置づけ 重点取組項目/施策の方向性	NO	施策・事業名	新規・継続	目的	内容	課題	今後の方向性	実施期間	実施場所	平成29年度事業費 (単位:千円)	成果指標					自己評価 S:計画以上の成果 A:達成できた B:ある程度達成できた C:達成できていない	対象(ターゲット) (該当するところ◎をご記入ください)										広報媒体 (掲載された広報媒体(該当するところ◎をご記入ください))								
											指標名	単位	H28実績	H29実績	H30目標		市民全般	男性	女性	乳幼児	小中学生	成人	高齢者	障がいのある人	外国人	その他	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(あしやトライアングル等)		
③ 芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり (4) 文化を通じたまちの魅力の一体的な発信	144	シティプロモーション事業	新規	本市の魅力を活かしたシティプロモーションを行うことで、市民のシビックプライドの醸成及び本市の住みやすさの認知度を向上させ、交流人口の増及び人口流入促進を図る。	PR動画の制作・放映	限られた時間のなかで、全ての文化的魅力を発信できなかったこと。	高級住宅だけではなく、芦屋市の文化的魅力をPR動画を通じて発信していく	動画公開:12月19日~	市内全域	7,345	再生回数	回	-	9,921	増加	B	◎												◎	◎		◎	◎	◎	
	145				「高座の滝」ハイキング撮影会	子育て世代の参加をもっと増加させること	実際に様々な場所に訪れることによって芦屋市の魅力発信へとつながる。	11月23日	阪急芦屋川~高座の滝	3,658	応募者数	組	-	30		B	◎													◎	◎				
	146				親子向け撮影会	小さいお子さま連れのためイベント実施日での訪問場所が限定されてしまうこと	実際に様々な場所に訪れることによって芦屋市の魅力発信へとつながる。	12月2日	芦屋市総合公園	3,658	応募者数	家族	-	69		B	◎														◎	◎			
	147				モダニズム建築撮影会	イベントを通じて特別に様々なスポットを撮影させていただけしたが、日常的には困難であること。	市内にあるモダン建築の魅力発信をイベント等を通じておこなっていく。	12月21日、22日	芦屋モノリス	3,658	応募者数	人	-	52		A	◎													◎	◎				
	148				親子で楽しむ芦屋クラシック体験	芦屋市立美術館を利用できる日が限られているため、毎年実施するのは日程としても困難であること	芦屋市立美術館をはじめ文化ゾーンに訪れていただく機会を増やすこと。	平成30年3月4日	芦屋市立美術館	3,658	応募者数	人	-	1,041		A		◎	◎	◎	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	